


## 令和 2（2020）年度 研究サマリー

研究会名称	電解水透析研究会	
代表者所属	聖路加国際病院 腎臓内科	
代表者氏名	中山 昌明	
<p>【研究方法・結果】</p> <p>電解水透析研究会総会を2020年10月24日に開催。          前年度同研究会総会にて承認された「電解水血液透析患者の現況を把握する為の調査研究（聖路加国際病院倫理委員会承認済）」に関する報告および今年度の実施が承認された。          下記の通り調査/報告を行った。</p> <p>「電解水血液透析患者の現況を把握する為の調査研究（聖路加国際病院倫理委員会承認済）」の実施。          対 象： 電解水血液透析を1年以上継続している施設の患者。          調査委内容： 患者背景・基礎特性。調査年における患者転帰。          結 果： 対象は該当10施設、1068例。</p> <p>&lt;患者基礎特性&gt;          平均年齢：median 73 ± 12 歳、 性別：女性 38%、 透析期間：median 9.3 ± 7.3 年、          糖尿病あり：49.5%、 虚血性心疾患あり：31.2%、 脳出血：6.0%、 脳梗塞：19.8%、          下肢切断：4.2%、 頸部骨折：6.2%</p> <p>&lt;調査年末の患者転帰&gt;          転 院： 72 例、内併発症治療目的が 37 例          透析離脱： 1 例、 腎移植： 0 例          死 亡： 47 例（ 死因： 感染症 11 例、心不全 11 例、急性心筋梗塞 1 例、脳卒中 5 例、          突然死 2 例、その他 19 例 ）</p> <p>研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）          上記結果は、第 65 回日本透析医学会・総会（Web）にて発表した。</p> <p>&lt;論文&gt;          ・中山昌明ら、「透析液を再考する—予後と QOL 改善のために」 腎と透析 88(5):607-612, 2020（総説）          ・植村進ら、「電解水透析® 透析用水作製装置」 臨床透析 Vol36 No.9 181-183 2020          ・大崎雄介ら、「本邦血液透析患者の quality of life 関連研究内容に関する文献的調査」 透析会誌 53（8）：429～438, 2020</p>		